
運命の黒い糸

さみしんぼ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

運命の黒い糸

【Nコード】

N2978C

【作者名】

さみしんぼ

【あらすじ】

好きだけじゃダメな時もある恋愛は苦しいな。それが皆に反対されても一緒になれるのかな・・・いつか幸せになれるのだろうか。

出会い

貴方と出会ったのは二十歳の夏・・・今年私は28才 今でも貴方が好きです 愛してる。

ずっと一緒にいれると思ったのに私達には色々なことがあったね
ね〜好きだけじゃダメな時もあるのかな？貴方は今幸せ？私はすごく寂しいよ 貴方が隣にいないから。

〜 二十歳の夏〜 私は県外の専門学校に通うため実家を
でて一人暮らしをしていた。夏休みで実家に帰ってきてて暇で暇で
毎日のように友達と遊んでた 今日夜から友達と親不孝で飲み

ナンパされるかな〜なんて期待して友達二人と親不孝に来ていた。
今はもう親不孝通りなんて人は少ないけど当時は夜になればナンパ
ナンパでうじゃうじゃしていた。その日はナンパされるもピンとく
る人もいなく場所を変えるか友達と話してる時だった 貴方との出
会いは・・・第一印象はノリがいい面白い人だなあ〜って感じて意
気投合し4人で遊ぶことに ナンパについて行く行かないはたい
がい私が一人で決めていた(笑) 向かった先は貴方の家だったね。
お酒を買ってゲームをしたり私はかなりの酔っ払い 貴方と意気投
合し自然と別の部屋で貴方と二人つきりになって・・・あの頃私
は付き合ってた人がいたけど、ほったらかしにされたりして凹み気
味だったんだ。年下だった彼氏。その人と付き合う前にすごく好き
な人との別れ・・・忘れられなかったけど年下の彼と付き合ってい
た。過去が忘れられずに2年も引きずっていた時期だったんだ・・・
貴方にグチグチ言ったね。忘れられない彼はとても遊び人だった人
だったから男は皆H目的なんだあーって泣きながら貴方に話したね。
でも貴方は何か違う気がしたんだ 出会ったばかりなのにすごく好
きになってしまって・・・貴方とHをしてしまったね。

すごく気持が良くて不思議な気分だったんだよ。でも私は思ってし

まったんだ　まただ・・・また私は傷だらけになるかもしれない。貴方の体にはキレイな刺青が彫ってあったね貴方は私に言いました自分はヤクザだと。

ヤクザと聞いて忘れられなかった人を思い出してしまった・・・彼もヤクザだったんだ。でもね貴方がヤクザだときいてもすぐ惹かれたんだよ　また会いたいって思ったんだよ。私は泣きながら連絡を待つてるねと貴方に言いました　貴方は約束通り次の日に電話をくれたよね・・・そして私達は付き合いはじめたんだよね。私は年下の彼氏と別れ貴方を選んだんだよ。

年下の彼にはさんざん『お前はバカだ』『ヤクザばかりで男運ないやつだ。』

お前が泣くのは目に見える。

オレにしとけよ』嬉しい言葉も言ってくれてたけどあの頃私には貴方しか見えなかったんだよ。

嫌いで別れたわけじゃないから年下の彼氏と泣きながら別れたんだよ。　それくらい貴方に惹かれたんだ。でも今おもえば、あんなに言ってくれた年下の彼と別れて罰があたったのかな・・・

貴方は昼間は普通に力仕事をしてたね。

すごくかつこよくて素敵だったよ。

夜になると貴方は私の知らない世界で働いていましたね　ヤクザの人と付き合うことがあんなにも辛く悲しい思いをするなんてちっとも考えてなかったよ・・・週1くらいのペースしか会えなくて・・・会えても貴方にはすぐ呼び出しがかかり私を一人おいて本当によく出掛けていきましたね。

寂しくて辛くて貴方が出掛けていつも一人泣いてたんだよ　久しぶりのデートでもゆっくりできなくてすぐ呼び出しがかかったり、待ち合わせに遅れるのは当たり前だったよね。何時間も貴方を待ってた日々を思い出します　だからよくケンカもした

よね　貴方は決まって逆切れだったよね　あの頃の貴方は本当に優しくなかったな。ケンカをすると世界一仲が悪かったけどラブラブ

な時は世界一のラブラブバカップルだったよね。私が初めて貴方に胸ぐらを捕まれつきとばされた時は本当に怖くてたまらなかった。

原因は貴方がコソコソと元彼女と連絡とってたから・・今私と一緒にいるのにどうして電話がかかってきたら外にでるの？どうして私だけを見てくれないの？私はどうしてもあの時悲しくて思わず家を夜飛びだして帰っていたんだ。

貴方は戻って私がいらないのに気が着くと走りながら探して私を引っ張って家に連れ戻し怒り私の胸ぐらをつかみソファーに突き飛ばしましたね。

どうして私が怒られるか意味が分からず泣きながら辞めてと言ったよね・・貴方はあの時私を殴りたくて貴方の拳は握りしめて我慢してたね。

私が『今殴ろうとしたでしょ？』と聞くと貴方は『お前を好きだから殴ることができなかつた』と答えましたね。

でもね、それっておかしくない？嫌いだったら女の子に暴力振るうの？ 暴力からは何も生まれぬよ・・暴力で人の気持を押さえつけても、そこからは何も生まれぬよ。

お互いが苦しむだけだよ 貴方は私が好きだから分かってもらえずどうしていいか分からないって言ったね。

貴方はもう絶対私に手をあげないと言う約束をして私はこの時貴方を許したの・・怒った後私を抱きしめてくれたから・・私も好きだから信じて許してしまつたよ。

暴力する男は『ごめんね』って優しいとよく聞いてたけど・・ホントだったんだね。

でも好きだから貴方と離れなくなかつたんだ。

いつの間にか貴方にはまっつてたんだ・・初めて愛されてると感じた人だったんだ。

でも相変わらず私を待たせて・・あまり会えなくてやっと会えても貴方がある時『急に裏の仕事が入ったから遅くなる。

なるべく早く帰って来るから待つてね』って言ったよね。

女の勘つてやつかな・・・絶対嘘だと思った私は近くのパチンコ屋に足を運び貴方を探した・・・『私の勘違いでありますように・・・貴方がいませんように。』

『そんな思いを秘めて貴方を探したよ。大好きな貴方を見逃すはずがない。』『ねえどうして嘘ついたの?』『そんなことで私は怒りと悲しみでいっぱいだった・・・貴方の肩をポンと叩くと貴方は振り向き『ヤバイ』と一瞬顔をくもらせたけど無視して無言でスロットをうち続けたよね。私は貴方に『もう帰る。嘘つき』とメールをしてバスを待つてた・・・貴方は怒りにみちた顔で私の前に現れ『何が帰るとか言いよると?帰らせんよ』と私を引つ張つて家に帰つたよね。ねえー私達はあまり会えなく時間を大切にしたらよね。なのに貴方はパチンコと私の時間どちらが大切なの?私は仕事を夕方まで終えろと急いで貴方の元に飛んで行つてたんだよ。』

何よりも『裏の仕事』と嘘つかれた事が悲しくてしようがなかったんだよ。』

一緒にいても貴方はすぐ呼び出されるから会つた時トータル貴方とゆっくり話が出来る時は1、2時間だったよね。貴方は朝早くて眠たいのは分かるけどもつとたくさんイチャイチャしてたくさんお話しがしたかつたんだよ。』

私だつて次の日は仕事だつたりもしたから始発で帰つてたんだよ。次の日仕事と言つても『始発で帰つたらいいやん』と貴方はサラツと言つてたよね。私は体力的にも精神的にも疲れてたよ。でも会いたいし好きだから消して近くじゃなかったけど会いに行つてたね・・・私が『もつとたくさん話したい』と言つた言葉を貴方が理解したのはずーつと何年も先のことだったね。貴方はホントに自己中だったね。』

友達と遊ぶのも、一人で天神をブラブラ買い物したりするのも嫌がつて怒つてたね。』

だから私は休みだけ仕事だと嘘ついて買い物に出掛けたりしていったんだよ・・・この頃からだんだん貴方に会いたくなくて。』別

りたい』と言ってしまったんだ。

もちろん貴方は激怒したよね 汚い言葉遣いに貴方は私を脅しはじめたね。

『お前の家がどうなるか覚えとけ．．私だけでなく家族をまきぞいにするような言葉ばかりぶつけてたね。私は怖くて怖くて仕方なかったよ だから貴方と初めて別れた時は警察沙汰になってしまったね。私は警察に行つて貴方のことをいろいろ聞かれそのうち

『どうしてこんな事になってしまったんだらう。好きだったのに胸が苦しいよ』って感じたんだよ。こんなことがおきて何ヶ月かすぎ私は貴方に謝りたくて仕方なかったんだ。家族からは『もう二度と連絡とるな』と言われてたけど貴方に謝りの連絡をしたね。それから親に内緒でコソコソと貴方との長い付き合いが始まったんだよね。それからもケンカはしたけど私達はラブラブだったよね。泣くこともたくさんあつたけど楽しかったよ。私はこのまま家を出て貴方と暮らしたくてたまらなかつたよ 家を出て一緒に暮らす話もしてたけど、貴方はあの時そこまでする勇氣もなく．．この気持は私の方が強かつたね。この頃家を出て一緒に住んでたら今でも一緒にいられたかな？誰か教えて．．貴方と次に別れを決めたのは貴方とケンカになつて貴方が私に何発も殴つた時だったよ。

怖くて痛くて．．もう親には言えないし怖いから私は必死で謝つて貴方の機嫌がなおることを祈つたんだ。

今日は怖いから明日別れを言おう．．そう心に決めて家に帰つたのを覚えてます。

でも貴方から連絡がこなくなつたよね こんなことは初めてだったから戸惑つたけど私は暴力をもう振るわれるのは嫌だし連絡はしなかつたんだ．．でも3日後貴方からの連絡。

今まで生きてきた中で一番嬉しかった知らせの連絡だったよ。

『ヤクザを辞めた。』

今実家に帰つてきてる』そんな話をしてくれて私は泣きながら貴方と話たよね。

貴方は人が変わったみたいに優しくて・・・会っていても電話は気にしなくていいし貴方は優しいし・・・暴力振るわれて別れを決めたことなんか何処かにいつてしまつてたんだ。本当に幸せだったよね。私は貴方がまた戻るんじゃないかって心配で不安でよく泣いてたよね。でも貴方は『やつとお前と幸せになれる。こんなに人を好きになれたのはお前が初めてだ。絶対戻らないし戻りたくない。約束する』つて貴方は言つてくれたよねでもそんな幸せな日々が続くわけでもなく・・・私は先が見えないんだよ。

貴方は仕事はせず家においてゴロゴロするばかりの日々。

半年近くそんな日々だったから私は貴方に聞いたよね『ね〜仕事しないの?』つて・・・そのたびケンカしてたよね。

お互いお金なくてイライラしてよくお金のことでケンカしたよね。

貴方は決まつて『まだ働いたら裏の人間にバレてヤバイ』つて。

弱虫 いくじなし 口ばかり私を幸せにするつて嘘ばかり。

貴方がそんなことばかり言う度私は思つてたんだよ・・・『貴方を傷つける人が現れたら私が許さない』つて。

絶対連れて行かせない』つて。

ケンカして仲直りの繰り返し日々 いつになったら貴方と結婚できるの? 幸せな日々がくるの? そんなことを思つていたけど貴方に会えば楽しいしドキドキするし・・・なんだかんだでも幸せだったな。今思えば・・・ 貴方も働かないといけな
いと思つてたよね。

分かつてたよ でも今まで過ごしてきた私達の日々はあまりにもすれ違いでちつとも一緒にはいれず・・・だから貴方は私とたくさんいたいから働きたくなかつたんでしょ? 私は仕事してて貴方の家に着くと決まつてすぐお昼寝してたね。

でも貴方は機嫌が悪くなつてたよね 夜も私がすぐ寝ると貴方は『もつとたくさんいるいろな話してイチャイチャしたい』つて言つてたね。

貴方はやつと昔私が『たくさん話したい』つて言つてた気持がよくわ

かたつて言つてたね。

嬉しかったよ　すぐく愛を感じたよ　また戻りたいよ　あの日々に
・
私が死にたくなつたのは貴方と

付き合つて3年目。

私達は親に反対されてたから貴方はそれをずっと後悔してたよね・
・警察沙汰にもなつて親に内緒で付き合つてる日々に未来はないよ
ね。

そんな中貴方は『子供をつくろう。』

そしたらお前の親も許してくれるかも知れない。

ちゃんと仕事見つけて働uksi大丈夫だよ。

お前との子供が欲しい』　貴方はそう言つてくれたよね　嬉しかったよ　だつて私も早く貴方と一緒になりたかつたんだもん。避妊しないようになって半年後、私は妊娠しました。嬉しくて貴方に報告したよね　でも貴方は喜んでくれなかつたよね・・実際職にはついてなかつたし、私の親が頭に浮かんで逃げたんだよね。意気地無し　バカ　弱虫ヤローだつたね。私はそれでも貴方に期待したんだよ。

『いつになつてもいいから仕事見つけて落ち着いたら迎えに来てくれたらいいから。待つてる』　つて泣きながら言つたよね　私がどんな気持で言つたか貴方には分かりますか？それでもハッキリしてくれなかつたから私は一人で産む決心をして親にいつたんだよ。お母さんは泣きながら『お願いだから普通の人と付き合つて。これから先の老後で心配しないといけないのは嫌』　つて言つて泣いてたね

お父さんは私あまりにも彼氏が好きで今は普通の人だからつて泣きながら話したら私の味方になってくれたよね。でも子供を産むことは許してくれなかつたね　今思えばあの時もつと自分の意思がしつかりしてたら今頃可愛い子供がいたんだよね。一人で産むと言つたものの不安で仕方なかつたよ　貴方があの時傍にいてくれなかつたから怖くて不安で一人たまらなかつたんだよ。無責任に子供をつくつた私もバカだよ　でも子供がいたら幸せな日々になれ

ると思つてしまつたんだ・・・23才にもなつてバカだよ。ごめんね赤ちゃん 勝手なことして貴方を産めなくてごめんなさい。母とはそれから口も聞かず私も引きこもりの生活。ご飯も食べず痩せてく私を心配していましたね。死にたかつたんだ とつても。でも死ぬ勇気は私にはなかつた・・・子供の件で付き合つてたことも親にバレ貴方とまた付き合いましたよね。私がお父さんは付き合いを許してくれたからと貴方に話すと貴方は『ごめんね。お前ばかりに助けてもらつてごめんね。今度は絶対産んでね』そんな貴方の言葉を信じてやり直したんだ でも中絶してからHのことでよくケン力をしましたね。ゴムはつけてくれず・・・だからまた出来てしまつたらつて恐怖だつたんだ 貴方は口で言うばかりでバイトみたいな日々だつたからまた出来て貴方が逃げるんじゃないか不安でHするのも嫌になつたんだよ。ねえ、どうして貴方は私の気持ちをもつと考えてくれないの？傷つくのは女なんだよ？もつと大事にしてほしかつたんだよ。私が『ゴムしないなら別れる』つて言つてからはしぶしぶ納得してくれたよね。貴方も私が痩せてたのは気づいたでしょ？つらかつたんだよ 中絶がどんなものかわからないでしょ？やっぱり中絶したカツプルは上手くいかないね。

あんなに貴方とのHが大好きだつたのにHのことでケンカなんて・・・私はこの頃からよく過呼吸を起こしてたね。初めは貴方はすごく心配して・・・でも何度も何度も起こしてるうちに貴方には慣れっこになつていったね。とても苦しいんだよ 息ができないよ 貴方が優しくしてくれないと消えてしまひそうで嫌だつたよ。ずっと中絶して付き合つてたことをよく後悔したよ。

初めてのリスカ

あ付き合つて5年目の私の誕生日に私が行きたがつてた所にお泊まりでプチ旅行の計画をしたね。

でも貴方は前日になってお金がないといいだしたよね・・・その日は会ってから貴方はずっと変だったね。

いつも気にしない電話を気にしてコソコソと話してたよね だから夜にケンカになったね 貴方が裏の仕事を辞めてから私が嫌だと泣いて貴方は先輩と連絡するのを辞めてくれてたよね。

だって貴方の先輩は昔やんちゃな人だったり裏の人間ばかりだったから、貴方が裏の仕事を辞めても先輩から誘われたらまた戻るんじゃないかって心配で嫌だったんだよ。

だから貴方は先輩と切つてくれて私の嫌がることはしなかったよね でもこの日は違ったよね。

誕生日の前日の夜、コソコソしてる貴方とケンカして私はまた過呼吸を起こしてたよね。

貴方は『今から先輩に会いにちよいと行ってくる・・・少しお金借りるだけだから。』

お前の誕生日にお金がないのは嫌だ。

すぐ帰ってくるけん』って・・・過呼吸起こして泣きながら『行かないで お金なくていいか行かないで』って私が言ってるのに私を一人家に残し置いて行きましたね。

裏の仕事を辞めてから私を一人にさせたのは初めてだったよね。

私お金なくていいんだよ？貴方と一緒に入れたらいいんだよ？

お金ないって貴方はパチンコによく行ってたでしょ？そのお金を残しておくことも出来たでしょ？先輩と私の知らない所でホントは連絡とっていたんだね・・・悲しくて不安で息できなくて死ぬかと思つたよ。

お金のない貴方だったから先輩においしいお金の話を聞かされて貴

方がまた昔の世界に行くんじゃないかって不安で不安で私はどうしたらいいか分からなかったよ・・・『もう嫌だ・・・死にたい』気づいたら私はナイフで手首を切っていたよ。

でもちつとも痛くないんだ 『これがリスカなんだ・・・』ふと我にかえってずつと手首を見つめていた・・・貴方はこの傷に気づいてくれますか？

その日貴方が帰って来たのは朝の4時だったね。

すぐ帰って来るって嘘ついたよね 9時には家をでて旅行に行く予定だったからお互い寝れなかったよね・・・私の25才の誕生日は最低の誕生日でした。旅行もお互い楽しめず、昔みたいに鳴り響く貴方の携帯。私ずつと泣いてたよね・・・その夜貴方と初めて別々のベッドで寝ましたね。近くににいるのに貴方が遠くに感じたよ 私 の傷にも気づいてくれなかった貴方でしたね。貴方が手首の傷に気づいたのはしばらくたってからだったね・・・私が『妹とケンカして妹にかじられた』ってアホなことを言うと貴方は信じてましたね。

バカだね 私はこんなに弱い人間なんだよ・・・もつと私を大事にしてよ。もうリスカなんかするなって殴って抱きしめてよ・・・リスカの傷が治るのに1年かかりました。傷を見るたび嫌でした どうして幸せな日々は続かないんだろう。私達は本当に幸せな時が続かず次から次に何かが起きていたよね それでもケンカして仲直りしてバカツプルだったよね。何処かに行く時は決まって私は人目は気にせずイチャイチャしたよね。

貴方は恥ずかしいといいながらも嬉しそうだったよね 知ってるんだよ貴方が嬉しそうにしたこと。昔出来なかったことをたくさんしてきたよね 貴方はいつの間にか私の世界にどっぷり入りこんでたよね 『硬派なオレが・・・でもこんなに人を好きになれて嬉しい。絶対離さない』って・・・約束したよね？なのにどうして今一緒にいないのかな？悔しいよ 悲しいよ 時を戻してください・・・

幸せな日々

そんな考えをしながらも私達はなんだかんだで幸せだったよね。

私達は遊びに行く時は必ず貴方のお母さんに連れて行ってもらってたよね・・貴方は免許取り消しになってたから。

でもお母さんと一緒にいれることはすごく嬉しかったな　初めの頃は家に引きこもりゲームばかりしてたけどある時私が爆発したよ
ね　『家にずっといるのは嫌だ。

せつかくの休みがもつたいない。

散歩でもいいから外に出たい』　だからその時ケンカしたりしたよ
ね　一緒にいたら良かったのに私はほとんど欲が出てわがままになってたよね。

でも貴方はそれから絶対何処かに連れて行ってくれたよね。それが
近くのスーパーでも夜の温泉でもちよいとした買い物や映画やゲー
センなど・・もちろん送ってくれたのは貴方のお母さんだったね

嫌な顔せず何処にでも連れて行ってくれたお母さんにはとても感
謝してたよ　『今までありがとうございました』って言えないまま
だったけどね・・ゲーセンに行くと貴方はすぐムキになったよね
だからゲーセンに行くとよくケンカしてたね。

スロットが好きな貴方だったから・・でも必ず私の欲しい物をとっ
てくれたよね　ぬいぐるみや私の好きなカメンライダーグッズ

貴方はUFOキャッチャーはすごく上手だったよね　かつこよかつ
たな　だからゲーセン嫌だと言ってたけど本当は楽しかったよ！
スロットの時間は1時間までと約束してたしね。私は貴方に約束さ
せてばかりだったよね　わがままだよね　ごめんね・・でも貴方は
私と言う通りにしてくれたよね　ありがとう　貴方の愛はとても
感じてたよ。本当にラブラブバカップルだったね　こんな日々が
ずっと続くと思ってたのは私だけみたいだったけどね・・

自分の気持が解らない

でもやっぱり一人でも反対してる人がいたら幸せにはならないよね。お父さんは貴方に会ってくれて私達の付き合いを認めてくれたよね。
・『写真と違う。』

目が変わったな』って言うてくれた。嬉しかった。私は貴方にずつと言つてたことあったよね。

『昔と比べて目が違う。優しい目になった』って。それをお父さんも私と同じように感じてくれたんだよ。だって本当に目が違ったよ。昔は目が死んでて腐つてたもん（笑）

でも付き合いを許してくれるのはお父さんだけだったよ。お母さんもお姉ちゃんも妹も皆反対だったよ。何かあるたび私が泣いてるのを知つてたからかな。今は変わったつて言つても皆信じてくれないんだよ。だからお母さんにきつく当たつてた時期もあった。どうして私だけ反対されるの？お姉ちゃんの結婚はすぐ許したくせになんで私だけ？今は普通の人になつてると言つても刺青が入つてるだけでダメだつて。どうしてだろうね。見た目じゃないのにね。悔しかったよ。貴方には言わなかったけどね。貴方は私がいつも笑つてバカなことばかりしてるつて思つてたでしょ？私は毎日毎日悩んでたんだよ。でも貴方に言つたら貴方が一番悲しいでしょ？だから一人でよく考えてたんだよ。周りがとんとん拍子に結婚にすぐありつけることが不思議でたまらなかつたよ。嫌だつた。うらやましかつたな。ケンカするたび私はすぐもういい。別れる』つて毎回言つてたよね。でもいつも貴方は『ふざけるな。簡単に別れを言うな』つて怒つて。そして仲直り。でもケンカした時は本当に別れたいつて思つてたよ。

なんでだろう。好きだったけど昔みたいに好きじゃなくなつてたのかな。ケンカして人間みて。価値観の違いも分かつて。いつの間にか分かんなくなつちやつてたかな。そんな気持になつたの

はやっぱり子供をおろしてからだったよ。あれから泣いてばかりだったよ。受け身は女・・・傷つくのも女・・・もうあんな思いをしたくない！先に貴方から気持が離れたのは私だったのかな・・・きつとお互いの為に私達の終わりはよかつたんだよね・・・

突然の告白

貴方と付き合って7年 が過ぎた夏・・・終わりはあっさりとやってきたよね。

貴方はバツイチだったよね・・・でもね、バツイチと貴方が私に話してくれたのは貴方と付き合って3年が過ぎた頃だったよね。

私が子供をおろして『また一から頑張ろう。』

『って泣きながら頑張ってたよ。』 貴方は私に何か言いたそうだったよね。でも意気地無しでイモヒキだから自分からなかなか言えなかったよね。私が『バツイチ？』って聞いたら『うん・・・今まで黙ってごめん』って言ったよね。私はなんとなく気づいていたよ。

いつ貴方から言ってくれるか待ってたんだよ。だから言われた時シヨックじゃなかった・・・でもね貴方は『子供はいない』って言ったよね？どうしてあの時話してくれなかったの？大事なことはいつも後から言うよね・・・決まって貴方の台詞は『お前のことが好きやけん言えなかった・・・嫌われたくないけん』だったよね。

でもね後から聞くのとその時聞くのでは受け取め方が全然違うんだよ・・・裏切られたことがない貴方には解らないんだろうね・・・

そして付き合って7年目だよ・・・子供がいたと知ったのは。

貴方は私に『話した』と言い張ったよね？絶対聞いてないよ。

その日は普通に居酒屋で飲んでたよね。

昔話してて貴方がポロリと喋ってたんだよ。

子供いるけど別れた後に知ったし、会ったりしてないから知らないと言ったよね。

私器が小さいから許せなかったよ・・・貴方の子供がこの世にいると考えただけで涙が止まらなかった。

だって悔しいんだもん。子供おろした私は悔しくて悲しくて許せな

かっただよ・・・子供をおろしてなかったら許せてたよ。
その子供の心配なんてしなかった・・・冷たい人間だな私も。でも7
年目にしてこの告白ってないんじゃないの？逆の立場だったら間違
いなく貴方は怒るよね？この告白を聞いてからギクシャクしてケ
ンカしたよね。今となったらあの時のケンカの原因なんて忘れたけ
ど・・・いつもみたいにささいなケンカだったと思う。

衝撃の告白第2段

それから2ヶ月連絡してこなかったよね。

今までケンカしたら貴方から連絡あったから私は毎日イライラしてたよ……だから我慢できずもうハッキリさせたくて『荷物とりにくる』と貴方に言ったよね。

でも貴方は『今は無理』と言ったよね。

いろいろ話してて貴方からの衝撃告白第2段だったな……貴方の話じゃ私とケンカ別れして、ムシヤクシヤして一度だけHした子に子供が出来たから、結婚する……だったね。

貴方はそれを話した後『いいとこのお嬢さんやけん逆玉に乗ったと考えてラッキーかな』って笑いながら私に話したよね……家に借金もあつたし払ってもらえると……借金は私には『ない』って言ったよね？また嘘ついてたんだね。

決まってあの台詞だったねこの時も！ねえ〜好きだったら普通早くに言うんじゃないの？ってか逆玉って考える貴方は男として最低じゃない？働けよ！こんな告白を電話でされ私は泣いてたよ。

でも泣いてるの気づかれなくて笑って『良かったねえ〜頑張つて仕事みつけり〜ね〜』って言ったんだよ 電話を切った後混乱して……もう貴方と進む未来はなくなつたんだって思つたら泣いてたよ。

誰かに聞いてほしくて気づいたら泣きながらお姉ちゃんに電話してた……お姉ちゃんは『どっちが悪いなんてない。でもアンタも警察沙汰になって親に迷惑かけたのに連絡して付き合つたアンタも悪い。そんな結婚して幸せになれるわけない 縁がなかったんよ。もう堕ちるとこまで堕ちたけん後は人生あがるだけよ。』って言われたな……でも別れる本当に少し前に貴方は『もしお前と別れたら普通にそんなに好きじゃない女と結婚してハイハイボンボンに暮らすんやろ〜な〜』って言ったよね……貴方は一度だけ遊んだと言っ

てたけど今思えば違ったんだね・・・子供も私は『もう欲しくない』
って言ってたし・・・出来ちゃた結婚するって聞いた時に貴方は私に
『お前は子供欲しくないってよかったし、それ聞いてお前と先はな
いって思った』って・・・バカだよな 私子供大好きなんだよ。

でも大好きな子供殺して、貴方はバイトみたいな日々でさあー子供
欲しいって言われても嫌なのは当たり前じゃん。

貴方との子供が欲しかったに決まってるじゃん。

もっと仕事バリバリしてしっかりして言われた言葉だったんだよ。
・・・本当に私の気持ちを分かってないね。バカだね貴方は・・・

どうしていきなりこんな話するのかなあ〜ぐらいで聞いて
たけど今思うと貴方はその人に何回か会ってたんだよね・・・一回で
簡単に出来るわけじゃないじゃん！ 最後までほんとに嘘つきだったね

この関係って？

それから私達は普通に付き合ってた頃みたいに連絡とりあったよね。貴方は結婚するというのが・・・貴方は仕事を見つけて真面目に働きたよな。

悔しかったな・・・私に子供が出来た時も仕事探して結婚してほしかったな。

やっぱり縁がなかったんだね。

貴方は私に『結婚は無理矢理させられる。

子供出来たのオレは知らんやった。

オレ飛びこえていきなり親に話しがいつて相手の親が責任とれって言うてきた』って・・・でも貴方は鬼でしょ？結婚したくないなら『おろせ』って言えるじゃん。

私の時みたいに・・・いくら親に言われても結婚しないこともできるでしょ？私、子供できた時にお父さんに『なんで今この場に彼氏と親はいないのか』って言われたんだよ。

ねえ、私もあの時親に言うてもらってたら今頃一緒にいたのかな？悔しかったよ。私も卑怯なやり方を使ってたらって・・・でもきつと長くは続かなかっただろうね。

やっぱり比べてしまっただよ・・・じゃあー私はあの時なんで？どうして？好きじゃなかったから？って。

バツイチの貴方からしたら次の結婚は覚悟があるはずだよね？でもすんなり結婚したんだからやっぱり相手のことが好きだからだよ・・・私より好きだったから結婚したんだよね・・・悲しいけどこれが現実だよな。それから貴方は12月にスピード結婚。私と夏にわかれ3、4ヶ月してからだったよね。それから私の眠れない日々ははじまったよ・・・貴方は今まで通り連絡してというけど貴方は結婚したんだよ？貴方が結婚して初めて会ったのは正月すぎですぐだったよね・・・普通にデートしてお泊まりコース

だったね。貴方はさあー私に泣きながら『絶対別れるから待ってて。やっぱりお前がいい。遠くに行って二人きりでやり直おそ』って言ったよね？私信じてたんだよ・・・最後にもう一度だけ信じてみよう。貴方が涙を流して話してくれたから・・・あの言葉に嘘なんかなって思ってたよ。

守れなかった約束

連絡とり合う日々が続いて貴方は子供が産まれる前に別れると私に約束したよね。

そして約束の日にちを決めたね・・それから連絡とってたけどやっぱり付き合ってる時みたいにはいかなかったね。

貴方から連絡がなくなったり、突然連絡あったりで。

眠れないんだよ私・・頭が変になりそうだったよ 眠れないから毎日毎日睡眠薬飲んでたよ。

貴方は別れると言うばかりで私は貴方の言葉を信じるしかなくて・・私達がしてたことは不倫なんだよね？貴方に『不倫みたいなまねごとはしたくない。』

ただHしたいだけなら他を当たって『って言ったよね・・でも貴方は『違う。』

お前に不倫のまねごとはさせない。

絶対別れるから』って・・でも私達がしてたことは不倫だよ？いくら貴方が違うって言っても世間からすれば不倫の一言だよね・・世の中には不倫してる人はたくさんいるけどどうして平気なの？私は寂しがり屋だから不倫なんてできなかつたよ。

やっぱり貴方はただHがしたかっただけだったね。いくら違うと言われてもそうなんだよ。

ねえ私と付き合って一筋になれたんじゃない？変わったんじゃない？遊んでたの？遊び人は治ったんじゃない？私と付き合ってる時も違う人と遊んでたの？ 遊んでたから今回みたいに結婚したんだよね・・貴方が結婚して何度か会ったけどやっぱり毎日辛くて泣いてばかりだったよ。

またリスカしてしまいそうだったよ・・だから約束の日にち前に私からサヨナラしたんだよ・・サヨナラして2ヶ月くらいして貴方は普通に連絡してきたよね。でも私は会わなかつたよ 会っても

同じことの繰り返しで私だけ前に進めないじゃん・・七夕に会う約束もしてたけどやっぱり嘘だったもんね・・『七夕には別れてるから』なんて貴方は言ってたけどね。やっぱり嘘つき人間なんだね。やっぱり長い春はダメだね 長い春に春はこないんだね

前をむいて・・

貴方と会わなくなつて私は強くなつたよ。貴方に会わなくなつて出会いもありました。

今まで貴方ばかりで周りが見えなかつたけど私以外とホテルみたいなんだな〜って・・・貴方と別れた時は死ぬんじゃないかってシヨツクで泣いてばかりだったけど、でもね、貴方から連絡ないと睡眠薬もいらさないんだよ。

息が詰まつて過呼吸起こすこともないんだ・・心配も不安もなくて毎日今は楽しいんだよ。

もう貴方と付き合うことは二度とないだろうね・・・貴方がかんだ平凡でも幸せなな生活。

邪魔はしないよ・・・やつと貴方から卒業できたよ。私達は本当にいろいろなことがあつたよね　でもね今となつたらやつぱり楽しかつたよ　たくさん辛いおもいや悲しいこともあつたけど貴方に出逢わなかつたらこんなにも人を好きになることはなかつたよ。貴方に出逢えて私は良かった　貴方はどうですか？私と離れた日々は楽しかつた？これから誰かと付き合つても貴方のことは一生忘れないよ。

貴方はどんな気持ちで連絡してくるかわかんないけど私の幸せを願つてるならもう連絡してこないで・・・私からはしないよ。

私は前を向いて歩きたいよ。

今やつと少しずつ前をみて歩いてます　貴方と過ごした日々は私

の宝物　宝物といえば私達が埋めたタイムカプセルはなかつたね

(涙)　あのタイムカプセルに貴方は何て書いてた？　貴方との思い出は今でも家にたくさんあるよ。

きつと捨てることはないよ　こんなに人を好きになれて良かった

たくさん愛してくれてありがとう。

忘れないよ 私がこのサイトを利用したのは貴方に今まで言えなかったことを書きたかったから。

ただの貴方への日記だよ・・・交換日記をしてた日々を思い出して（笑） でも貴方がこの日記を見ることはないだろうね。

貴方が利用するサイトはエロサイトばかりだから（笑） このタイトルの意味は貴方しかわかんないね・・・やっぱり赤い糸じゃなかったね でもね貴方と私は一生黒い糸で結ばれてるんだよね。

後悔してないよ それぐらい好きだったから ひとつくらい私も貴方と繋がっててもいいでしょ？私の叶わなかった夢だよ・・・運命ならまた会えるはずだから・・・だから私はもう振り返らない 前を向いて歩きだしたよ サヨナラ大好きだったよ 貴方は幸せですか？貴方の幸せを願ってます。貴方が欲しかった家族を大事にね お母さんを大事にだよ。ケンカはダメだよ！ヨツチャン・・・ほんとに愛してたよ 生まれ変わってもまたヨツチャンに出逢いたい。愛したい。今までありがとう バイバイ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2978c/>

運命の黒い糸

2011年10月4日00時36分発行